

京都精華大学活動報告 17

日時：平成 28 年 11 月 7 日(月) 10:00～15:00

天気：晴

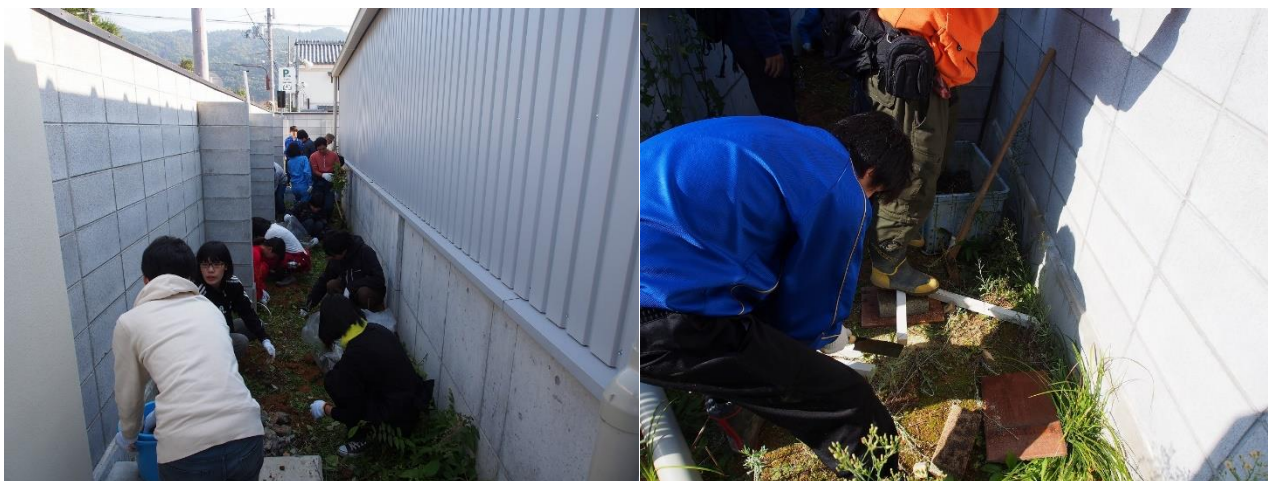
気温：最高 14.0℃／最低 9.0℃

参加者：15 名

内容：ゾウとシマウマの肥料による土づくり，おとぎの国屋上菜の花畑への追肥，木の枝ベッドづくり準備

・ゾウとシマウマの糞の肥料を堆積し，どのように変化していくかを観察するための場所を作りました。

まずは，雑草を抜き，流出ないように木枠を作ります。



次いで，ゾウとシマウマの糞の肥料を堆積します。



これで準備完了です。下右写真は，昨年 5 月に開催した 3 園館連携ワークショップの中で植物園で実施した「ゾウの糞の肥料」と「オットセイの糞」と土を混ぜて行った植物にやさしい土づくりで完成した堆肥です。

参照 <http://www5.city.kyoto.jp/zoo/event/20150516-15075.html>



- おとぎの国屋上菜の花

10月24日に播種した「菜の花」が発芽し、たくさんの若葉が出ています。東西2か所の緑化エリアのうち、東側にのみ上述の堆肥を入れました。西側との生育の違いを観察していきたいと思います。



- 木の枝ベッドづくり準備

園内樹木の剪定枝でベッドをつくるワークショップを開催するための試行。樹木は噴水池の南西にある「シラカシ」の枝を選択し、剪定は樹木管理業務を委託している業者に依頼しました。



まずは、剪定された枝をモートルックに積んで、移動させます。



そして、剪定枝の重さを量りました。しばらく手入れされていなかったらしく、約 171kg もありました。



横になって寝心地を確かめたいので、枝葉についている可能性のある毛虫を落とすために水洗いしたところ、数は少なかったですが、アオイラガやマツカレハ？が見つかりました。



※なお、木の枝ベッドづくりは、中学生の生き方・探求チャレンジ体験のプログラムの一つとして実施しました。



生き物・学び・研究センター 和田